

令和2年4月1日

令和2年度 定時総会について

令和2年度の定時総会は、COVID-19蔓延の社会状況を鑑み、規模を縮小し実践桜会会館にて、代議員のみにての開催といたします。

懇親会はございません。

開催日：2020年5月17日（日）

- 議 題：1. 令和元年度事業報告の件
2. 令和元年度決算書承認の件
3. 公益目的支出計画実施報告書承認の件
4. 監査報告
5. 令和2年度事業計画（案）及び予算（案）の件
6. 役員改選の件

*代議員は、4月中にお送りする「出欠連絡書」にご記入の上、郵送にて実践桜会までご返送ください。

〒150-0011 東京都渋谷区東1-1-40

TEL：03-3407-7459 FAX：03-3499-0835

E-mail：jissen-sakurakai-jim@forest.ocn.ne.jp

那 志 市

Nayotake

第83号

題字・下田歌子先生



実践女子大学 文学部資料研究所蔵
『土佐絵源氏物語』若紫巻

更なる発展を期して

学校法人実践女子学園

理事長 山本 章正



昨年度は、下田歌子先生生誕の地・岐阜県恵那市岩村町での記念式典をはじめ、創立120周年を記念する様々な事業を展開してまいりました。そこで、大勢の卒業生にお会いし、お話しする機会に恵まれました。また、記念祝賀会でのご挨拶や、記念講演会・シンポジウムへのご登壇の依頼などを通じ、実業界の第一線でご活躍の卒業生の方々とお話しする機会にも恵まれました。初めて一同に会されたとき、「以前からお名前は存じ上げておりましたが、実践の同窓生とは嬉しいですな」、「何か母校のために一緒にやりたいですな」という声が、卒業生の皆様から自然と湧き出てきて、とても嬉しく思いました。同窓意識とは、こういうものだと思えて認識した次第です。これは、私が創立120周年記念事業で得た大きな収穫のひとつです。

私自身の長い会社生活を振り返ってみると、どんな規模の会社でも、人と人とのネットワークが、企画力や実行力を支える大きな力になっていたとつくづく思います。一人では成し得ないことも、チームで力を合わせれば達成することができます。

同窓会は、共通言語を持つ仲間としての安心感や打算のないフィードバックを得られる良質な人的ネットワークです。こうした卒業生同志のつながりは、大変価値の高いものではありますが、維持には大変な努力と労力が必要とされます。

本学園においては、伝統と実績のある実践校友会のお陰をもちまして、日本全国のみならず、海外にも卒業生ネットワークが広がっております。改めて、この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

私は、今後、この卒業生ネットワークをますます充実させることが、学園の更なる発展につながると考えています。昨年4月には、大学と短期大学部で、学生一人ひとりを個別に入学から卒業後まで支援する新たな学生支援制度 Jissen Total Advanced Support（通称J-TAS）をスタートさせました。11月の創立120周年記念講演会及びシンポジウムには、4名の卒業生に講師・パネリストとしてお越しいただきました。本年度は、大学の授業において、卒業生が後輩（学生）に仕事への向き合い方を教導する機会を設ける予定です。

学園発展のためのヒントは目の前にたくさんあります。一つずつ、着実に歩いていく所存です。実践校友会の皆様には、これまでと変わらぬ温かいご支援を心よりお願い申し上げます。

令和2年度を迎えて

一般社団法人教育文化振興実践校友会

理事長 鈴掛 まゆみ



令和2年・2020年は、東京オリンピック・パラリンピック開催年です。

前回1964年の第18回東京オリンピック競技大会では、陸上競技を旧国立競技場で観戦できたことが、当時中学2年生だった私にとって、忘れがたい思い出になっています。今回もぜひ、生で観戦したいと思い、抽選申込みをしましたが、全部落選してしまいとても残念です。幸いに、令和元年12月に行われた完成祝賀オープニングイベントに参加することができ、新しい国立競技場の初体験を果たせました。

さて、昨年は、実践女子学園創立120周年の年でもあり、岩村の記念式典、渋谷の祝賀会をはじめ、記念イベントにはたくさんの同窓生の皆様にご参加いただきありがとうございました。

さらに、来年（2021年）には、私達の実践校友会（同窓会）も120周年を迎えます。初代理事長の下田歌子先生から数えて、私は17代目になりますが、多くの会員のみなさまと共に祝いできることを楽しみにしております。

また実践校友会は、本年は2年に一度の役員改選の年に当たり、来る5月17日（日）の定時総会で承認される新役員を迎えて新たなスタートを切ります。皆さまには引き続きのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

昨年10月5日に開催された秋季運営委員会に於いて、今後の実践校友会の活動や運営について、検討する会を発足してほしいとのご提案をいただきました。この会を立ち上げるに際しては、科会よりの役員（理事）の選出が大変困難になってきていること、公益法人の下でのこれからの活動・運営をどうしたら良いか等、会員の皆さまからも多数のご意見が寄せられました。早速、各科会から2名、理事長、常任理事によるメンバーで2月20日に第一回の集まりが開かれ、名称も「実践校友会を考える会」に決まりました。活発な意見交換で、より良い実践校友会の方向性を見いだしていこうと思います。

毎年、続けてきております支部訪問と懇談会は、2020年11月に札幌・函館2支部合同開催の予定です。日付と場所は決定しましたら追ってお知らせいたします。もちろん、昨年の沖縄支部同様に学園からも参加していただき、実りある懇談会ができることを願っております。

北海道在住の会員のみなさまの多数のご出席をお待ちしております。

大学・短大の中期計画

実践女子大学・実践女子大学短期大学部

学長 城島 栄一郎



学園では2020年度から3-5年の中期計画を策定することになりました。大学・短大でも教学関係の中期計画を策定しています。その方針をお知らせします。

本学の建学の精神「女性が社会を変える、世界を変える」と教育理念「品格高雅にして自立自営しうる女性の育成」は脈々と受け継がれており、2019年5月に創立120周年を迎えこれまで多くの人材を幅広い分野に送り出してきました。

現在の社会は、増え続ける人口問題、地球温暖化などの環境問題、経済や社会のグローバル化など問題が山積しています。日本においても少子高齢化などの問題を取り越えていくためには、日本では特に、男女が同等に働き、意思決定し、社会に貢献する男女共同参画社会の実現が必須です。

また今始まりつつある第四次産業革命ではICT、IoT、AIなどの技術革新が進み、従来人が行ってきた単純作業や肉体労働・事務処理などが代替・自動化され、社会が必要とし期待する能力は今までとは違うものになります。

今後の社会でどのような人材が必要か。それは決められたことをこなす、協調性があるというような従来の能力だけではなく、自分で社会の問題点を見つけ出し、目標の設定ができる、価値判断ができる、創造力がある、対人コミュニケーション力があるなどAIなどでは代替できない、自ら考え行動する能力を持ち社会を変革し未来社会を切り開いていく人間です。

そのような人材を本学で育成するためには、従来からの知識伝達型の教育に加え、論理的思考力と実践力が重要です。そのための基礎学力、広範囲な教養及び数理的思考力（データ分析・活用能力）を養い、さらに学生が主体的に行動し自ら発信していくPBL等の課題解決型学習の充実、社会連携やグローバル化に対応した教育カリキュラムの見直しと環境を整えていきます。そして、学生一人ひとりの個性を大切にし、能力を最大限に伸ばす新たな学生総合支援：J-TAS（Jissen Total Advanced Support）を構築しました。

研究の面では、文部科学省の平成30年度の「私立大学研究ブランディング事業」に本学の「源氏物語研究の学際的・国際的拠点形成」が採択されました。ここでは国内外の様々な研究機関と連携し、文理融合による研究手法を導入して新たな知見と成果を教育に還元し、グローバル社会で求められる日本文化を発信できる人材の育成を進めます。

実践女子学園中学・高校の近況報告

実践女子学園中学校 高等学校

校長 石野 郁也



実践校友会の皆様、日頃から本学園の様々な教育活動に對しまして深甚なるご厚情を賜り、衷心より御礼申し上げます。本学園の近況をご報告させて頂きたく存じます。

本校では激しく変化し、様々な課題が次々と生じています現在を踏まえ、これからの時代に求められる人間力とは何かを問い続け、既に中高の6年間では「基礎期 中1～中2 日本を知る」、「充実期 中3～高1 世界を知る」、「発展期 高2～高3 自分の役割を知る」を軸に教科教育、グローバル教育、探究教育、感性表現教育を展開してきました。この成果を礎に、中高の6年間のカリキュラムを刷新いたします。

それは、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）が中心となって、環境破壊、貧困、気候変動、テロ、自然災害など地球規模の課題が増大し複雑化する中、持続可能な社会づくりの担い手を育む、ESD（Education for Sustainable Development）教育、すなわち持続可能な開発を実現するために発想し、行動できる人材を育成する教育の展開です。

ESDの学習で取り上げるテーマ等は必ずしも真新しいものではありません。それらをESDという新しい視点から捉えなおすことで、個別分野の取組みに、持続可能な社会の構築という共通の目的の下、具体的な活動の展開に明確な方向付けをするものです。

現在、ユネスコスクールへの早期加盟を目指して着々と準備を重ねております。

◎ESDで育みたい力

- ・持続可能な開発に関する価値観
- ・体系的な思考力
- ・代替案の思考力
- ・データや情報の分析能力
- ・コミュニケーション力
- ・リーダーシップの向上

◎実践女子学園10年教育

上記の取組みにおいても、中学校から大学までを有する本学園ならではの豊富で多様な人的・物的な教育資源を相互に最大限活用すべく、「実践女子学園10年教育」と銘を打って、校祖下田歌子先生の志である「女性の自主性発揮」と「それを可能にする社会の構築」の具現化を目指し、魅力あるカリキュラム開発に取り組んでおります。

時代がダイナミックに変容する中、要請される教育の質や内容も自ずと変わりますが、本校の教育方針との検証を図り、光り輝く実践女子学園を希求してまいります。

実践桜会2020年度年間行事予定表

□日は未定

年 月	本 部	支 部
令和2 4月	1日 「那与竹」第83号発行 □日 入学記念品贈呈(院・大・短・中) □日 実践桜会奨学生募集 8日 法律相談 11・25日 結婚相談	5日 神奈川支部 春の茶話会(於：小田原) 上旬 福岡支部 役員会(年間計画打合せ) 上旬 群馬県支部 役員会 上旬 札幌支部 役員会(総会準備) 中旬 茨城支部 第1回役員会 中旬 富山支部 役員会 下旬 千葉県支部 「ミルフィーユ」発行 □日 関西支部 新年度挨拶文送付
5月	1日 実践桜会奨学生募集締切り 1日 国際交流基金奨学生募集締切り 17日 定時総会(於：セルリアンタワー東急ホテル) 17日 母校への助成金贈呈 13日 法律相談 9・23日 結婚相談	上旬 札幌支部 役員会(総会案内発送) 中旬 茨城支部 支部総会案内発送 23日 福島県支部 第1回役員会(総会準備・総会と講話の案内発送) 下旬 富山支部 役員会
6月	8日 国際交流基金奨学生選考委員会(書類選考) 20日 実践キャリアネット総会・懇親会(於：渋谷) 28日 国際交流基金奨学生選考委員会(面接選考) □日 実践桜会奨学生候補者面接 10日 法律相談 13・27日 結婚相談	7日 長野支部 役員会 14日 札幌支部 総会・親睦会 中旬 群馬県支部 総会・講演会・懇親会 中旬 島根支部 総会・懇親会 中旬 茨城支部 第2回役員会 21日 山形支部 総会・懇親会(於：上杉伯爵邸) 21日 千葉県支部 総会(於：京成ホテルミラマール) 27日 埼玉支部 総会・講演会(於：浦和コミュニティセンター) 28日 沖縄支部 第28回総会(於：那覇セントラルホテル) 下旬 福井支部 総会・懇親会 下旬 茨城支部 総会及び講習会又は講演会 下旬 富山支部 総会 □日 関西支部 幹事会 □日 鳥取支部 役員会(総会・秋の視察研修打ち合わせ)
7月	上旬 実践桜会奨学生説明会 上旬 国際交流基金奨学生説明会 20日 社会活動助成金申請 締切り 8日 法律相談 11日 結婚相談 23～26日 特別休館	4日 福島県支部 第2回役員会(総会準備) 5日 神奈川支部 総会(於：横浜) 上旬 群馬県支部 役員会・反省会 11日 福島県支部 総会・講話(於：郡山市開成山大神宮) 中旬 茨城支部 新卒業生へ入会案内発送 下旬 鹿児島支部 総会 下旬 札幌支部 役員会(総会資料・講演会準備) □日 函館支部 7月～10月に総会開催予定
8月	8～16日 夏期休館	中旬 長野支部 総会案内の発送 22日 福島県支部 第3回役員会(総会の反省) 下旬 福岡支部 役員会(総会・研修会打合せ) 下旬 千葉県支部 「ミルフィーユ」発行 下旬 札幌支部 日帰り研修旅行 □日 関西支部 第88回総会・親睦会・講演会のご案内送付
9月	8日 実践キャリアネット「秋の会員交流会」 19～20日 実践桜会バザー開催 中高「ときわ祭」に参加 9日 法律相談 12・26日 結婚相談	上旬 富山支部 役員会
10月	1日 「なよたけ情報版」第26号発行 8日 学祖祭 10～11日 常磐祭(渋谷キャンパス) 常磐祭協賛金贈呈・実践桜会賞授与 31日 秋季運営委員会(於：実践桜会会館) 31日 第1回実践桜会奨学生交流会 14日 法律相談 10・24日 結婚相談	2日 三重支部 下田歌子先生の墓参(岐阜県岩村) 3日 長野支部 第41回総会 中旬 埼玉支部 研修・交流会(於：さいたま市) 中旬 群馬県支部 研修会 20日 関西支部 第88回総会・親睦会・講演会(於：宝塚ホテル) 25日 愛媛支部 総会(於：松山市道後温泉山の手ホテル) 26日 札幌支部 講演会 下旬 鳥取支部 視察研修(伊勢・志摩・賢島周辺) 下旬 札幌支部 役員会(講演会の反省) □日 岡山支部 懇親会・見学会
11月	14～15日 常磐祭(日野キャンパス) 常磐祭協賛金贈呈・実践桜会賞授与 21日 実践キャリアネット第1回セミナー 11日 法律相談 14・28日 結婚相談	1日 熊本支部 総会 29日 栃木県支部 総会(深大寺・神代植物公園 もみじ鑑賞) 下旬 千葉県支部 ミニ同窓会 □日 関西支部 幹事会

□日は未定

年 月	本 部	支 部
12月	9日 法律相談 12日 結婚相談 26日～1月5日 冬期休館	上旬 福岡支部 総会・研修会 12日 島根支部 講演会と実演会(於：出雲文化伝承館)
令和3 1月	10日 初春歌舞伎観劇会(於：国立劇場大劇場) 11日 祝・成人の会 11日 実践キャリアネット第2回セミナー＆新年会 13日 法律相談 9・23日 結婚相談	下旬 札幌支部 役員会(次年度の打ち合わせ)
2月	□日 実践キャリアネット「卒業生と在校生の交流会 ～OG懇談会～」(於：日野・渋谷) 10日 法律相談 13・27日 結婚相談	上旬 群馬県支部 役員会
3月	6日 第2回実践桜会奨学生交流会 □日 卒業記念品贈呈(院・大・短・高) □日 実践キャリアネット会員交流会 10日 法律相談 13・27日 結婚相談	6日 福島県支部 第4回役員会(次期事務局との打ち合わせ) 中旬 札幌支部 役員会(総会準備) 中旬 埼玉支部 実技研修会(手芸) 下旬 福岡支部 役員会(会計監査) 下旬 茨城支部 第3回役員会 下旬 千葉県支部 ミニ同窓会 下旬 富山支部 役員会

学園だより

1. 実践女子大学香雪記念資料館
2020年度企画展 年間スケジュール

○ 学祖・下田歌子展Ⅰ 生誕から宮中奉仕、結婚、女子教育の道へ
2020年4月6日(月)～5月29日(金)
○ 第4回 新収蔵品展／中国美術史入門展Ⅰ期
2020年6月8日(月)～7月3日(金)
○ 源氏物語と日本文化 ―現代に蘇る源氏物語の世界―
2020年7月13日(月)～8月4日(火)
○ 本間久雄とオスカー・ワイルド ―英国世紀末の鬼才を追う
2020年10月13日(火)～10月30日(金)
○ 女性画家展
2020年11月9日(月)～12月12日(土)
○ 中国美術史入門展Ⅱ期
2021年1月6日(水)～1月29日(金)

2. 実践女子大学・実践女子大学短期大学部
「ホームカミングデー～卒業生のつどい～」

2020年11月15日(日)卒業生の皆様を母校に迎えるホームカミングデーを日野キャンパスで開催します。

3. 実践女子大学・実践女子大学短期大学部
2020年度公開講座(予定)

【国文学科】人生を豊かにする多読教育―辞書を引かずに英語のペーパーバックを読む方法―
【英文学科】展示：「本間久雄とオスカー・ワイルド―英国世紀末の鬼才を追う」シンポジウム：「オスカー・ワイルドと本間久雄博士―英国世紀末と明治日本」
【美学美術史学科】タイ王国王室の舞「ラーマキエン」ワークショップ
【人間社会学部】交通安全分野で働く若い女性の活躍
【食生活科学科】アスリートの食事から学ぶ
【生活環境学科】地域との関わり方を考える～地域コミュニティ論入門～

ンパスで開催します。
常磐祭と同時開催となりますので、この機会に足をお運びいただければ幸いです。

【生活文化学科】シンポジウム：「いじめ」について考える
【現代生活学科】実践女子大学のSDGs実践～環境・エネルギー・リサイクル～

4. 実践女子大学生涯学習センター

2020年度より、「履修証明プログラム」「専門講座」「リカレント授業」からなる、リカレント教育講座がスタートします。母校でもう一度学んでみませんか？卒業生の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

5. 実践女子大学短期大学部創立70周年

実践女子大学短期大学部は、1950年に実践女子学園短期大学として設置され、2020年に創立70周年を迎えます。

※各催事名、会期は変更になる場合がございます。学園ホームページ等でご確認ください。

ISEN WOMEN'S JUNIOR COLLEGE
70th Anniversary
Since 1950
- 学園行事予定表
- | 年 月 | 学 園 |
|----------|--|
| 2020年 4月 | 2日 入学式(大学・短期大学部・渋谷)
3日 入学式(大学・日野)
7日 入学式(中高) |
| 5月 | 7日 学園創立記念日
10日 オープンキャンパス(渋谷) |
| 6月 | 14日 オープンキャンパス(日野) |
| 7月 | 19日 オープンキャンパス(渋谷・日野) |
| 8月 | 10日 オープンキャンパス(日野)
15・16日 オープンキャンパス(渋谷) |
| 9月 | 20日 オープンキャンパス(日野) |
- | 年 月 | 学 園 |
|----------|---|
| 9月 | 19・20日 ときわ祭(中高) |
| 10月 | 10・11日 常磐祭(渋谷)
25日 オープンキャンパス(渋谷) |
| 11月 | 14・15日 常磐祭(日野) |
| 2021年 3月 | 3日 高校卒業式
18日 中学校卒業式
20日 卒業式(大学・短期大学部・渋谷)
21日 卒業式(大学・日野)
28日 オープンキャンパス(渋谷) |
- 5

東京2020オリンピック・パラリンピックへの取り組み

実践女子大学文学部国文学科
オリンピック・パラリンピック連携事業推進室教授

深澤 晶久



1. 「レガシー創り」に向けて

2014年6月の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会との連携協定締結、7月のキャリア教育科目「国際理解とキャリア形成」から本学のオリンピック・パラリンピックへの取り組みが始まりました。大学における3つのミッションは教育・研究・社会貢献です。本学においては、これらすべてをグローバル化していかないと、ダイバーシティ社会で共生・協働できる『実践女子』は育成できないと考え、200を超える国と地域から選手や関係者が日本に集結するオリンピック・パラリンピックは、グローバル社会を体験する最高の機会であると考えたわけです。2014年からの6年間で振り返った時、教育の側面ではオリンピック・パラリンピックをテーマに行ってきた「国際理解とキャリア形成」「オープン講座a」などのキャリア科目や、語学の必修科目「インテグレイテッド・イングリッシュ」などであり、社会貢献の側面では、「オリンピック・パラリンピックプロジェクト」がその代表例として挙げられると思います。

主な取り組みは表①のとおりですが、2019年末までに、約80の取り組みを数え、参加してくれた学生、生徒の数は約2,000名にもなりました。

しかし、今、振り返ってみると、すべての活動は学生や生徒達の主体性によって受け継がれたと言っても過言ではなく、私は日頃から「今、社会で最も必要とされているのは、主体性と人を巻き込む思考力」であると伝えてきましたが、このことを教えられたのはむしろ私自身であったことに気づき、改めて実践女子たちの大きなポテンシャルを感じています。



「MERRY SMILE SHIBUYA for 2020」礼法研究部（2018.8）

2. 「ALL JISSEN FESTIVAL 2019」の開催

レガシー創りの集大成を目指したのが、2019年12月21日に開催した「ALL JISSEN FESTIVAL 2019」の開催でした。このイベントは2015年7月に組織委

員会主催イベント「地域巡回フォーラム」で本学学生が発したメッセージ「東京2020の競技が行われる中心地渋谷に学ぶ学生として、私たち実践女子が先頭に立ち、女子大生の力でオリンピック・パラリンピックを盛り上げたい。」をきっかけに「女子大生フォーラム2015」が開催され、そのファイナルとしての通算5回目の位置づけで開催したものであります。

昨年までは、他大学の学生に集結してもらってまいりましたが、2019年は「実践女子をつなぐ」をコンセプトに、卒業生、在学生、中高生を縦につなぎ、「ALL JISSEN FESTIVAL 2019」として開催しました。

午前中は、「持続可能性」をキーワードに、SDGsカードゲームによるSDGsの理解のためのワークショップを行い、その後持続可能性をテーマに組織委員会からの特別講演を行いました。そして、組織委員会が進めている使用済みプラスチック容器をもとに製作される「みんなの表彰台プロジェクト」に参画し、2019年10月下旬から学生・生徒が集めてくれたものを組織委員会に贈呈しました。



みんなの表彰台プロジェクト（2019.12）

午後からのキーワードは「まつり」とし、ボッチャ大会に始まり、東京2020のマスコットキャラクター「ミライトワとソメイティ」との記念撮影会、来年の大会中に上映される応援動画「Make The Beat」の撮影、部活のパフォーマンスを中心とした懇親会まで、約200名の実践女子が渋谷キャンパスに集結し、大いに盛り上がり、参加者一人ひとりが、東京2020の主演として立ち上がることを宣言しました。

東京2020を機会に、今、世界で注目の集まる環境問題について考え、実際にパラリンピックの競技を体験し、実際の応援というものに参加するなど、オリンピック・パラリンピックには、決してボランティアなどに参加する以外にも、様々な形で参加できることを実感してくれた一日になったことと思います。東京2020のコンセプトの一つである「全員が自己ベスト」につながってくればと期待しています。



応援動画「Make The Beat」の撮影（2019.12）

3. 「実践の学生、生徒の魅力」とは

アクティブラーニング型の授業が重要である、教育成果の可視化が重要である、大学の3つのポリシーを体現化させることが使命であるなど、色々な意義があったことは事実であります。あらゆる場面においてプロジェクトマネジメントを意識した役割分担を学生に求め、さらにリーダーシップ教育の側面も意識して、高等教育に求められることを随所に取り入れたことも事実であります。しかし、私が目指すキャリア教育の姿『まなぶとはたらくをつなぐこと』とは、学生や生徒が本来持っている潜在的な能力を引き出すためにあらゆる機会を提供し、一人ひとりの学生・生徒が自らそのスイッチを入れるきっかけに結び付けることこそが重要と考えています。

2014年から実践女子大学の学生を中心に、短期大学の学生、実践女子学園中学校高校の生徒達との触れ合いの中で感じていること、それは、実践女子達の無限の可能性です。品格高雅であり、素直で、相手の立場に思いを馳せる力に優れ、まさにおもてなし精神を体現できる素晴らしい女性たちであると思っています。

東京2020における多様な経験が、学生・生徒一人ひとりの心に深く刻まれ、本人と周囲の人々の心の中にレガシーとなって刻まれ、これからの輝かしいキャリアの一コマになってくれることを心から期待したいと思います。

[プロフィール]

1980年慶應義塾大学法学部法律学科卒業。同年、株式会社資生堂入社、営業、マーケティング、新規事業開発、人事、キャリアデザインセンターなどを歴任。2009年人事部人材開発室長。2014年より実践女子大学大学教育研究センター特任教授。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会文化・教育委員、文部科学省「大学教育再生加速プログラム」委員、東京六大学野球連盟評議員などを務める。

※2020年7月11日に、東京2020の聖火リレーで日野キャンパスの近くを聖火ランナーとして走ります。

表① 実践女子大学における取り組み概要（2014年～2019年）

時期	名称	概要（参加者・参加団体など）
2014年7月～	キャリア教育科目「国際理解とキャリア形成」	■オリンピック・パラリンピック連携講座 ■履修学生（6年間260名）
2015年12月～	「女子大生フォーラム」	■2015年5大学50名 ■2016年10大学90名 ■2017年8大学80名 ■2018年10大学80名
2016年8月～	「高大連携フォーラム」「東京フィールドワーク」	■2016～17年高校生5校 ■2018～19年京都市立日吉ヶ丘高校
2017年1月～	「渋谷のラジオ」（地域FM）	■月1回（通算35回）
2017年6月～	「東京2020学園祭」「ライブサイト2018」「MERRY SMILE SHIBUYA for 2020」	「なぎなた部」「よさこいソーラン部WING」「礼法研究部」「addict dance club」「吹奏楽部」「茶道部」「華道部」etc.
2018年1月～	「オリンピック・パラリンピック連携事業推進室」「学事日程の特別措置」「英語力養成の強化」	■学内組織の新設 ■「リファレンスブック」の作成
2018年4月～	キャリア教育科目「オープン講座a」	■オリンピック・パラリンピック連携講座 ■履修学生（2年間200名）
2019年12月	「ALL JISSEN FESTIVAL 2019」	■卒業生、在学生、中高生など200名

1964年東京オリンピックの練習会場だった実践女子学園

ーオリンピックを期に体育の基礎づくりをめざすー

実践女子大学名誉教授

春山 文子（旧姓小川）



私は、1962年から社会人の一步を渋谷キャンパスの実践女子学園からスタートしました。運よく東京のオリンピック会場に近い実践女子学園に就職したおかげで2年後の東京オリンピックでは、約4ヶ月間東京オリンピック大会組織委員会の職務に出向しておりました。千駄ヶ谷の東京体育館に近い場所であることもあり、実践女子学園は体操競技女子選手の練習会場となり、オリンピック大会中、毎日学園の正門には五輪旗が掲げられ、活気を感じていました。

当時の体育館は大学事務棟（正門すぐ左側）の4階にあり、体育館のフロアには、段違い平行棒、平均台、マットが設置されていて、体育館入り口横には更衣室、下駄箱（シューズボックス）、個人用の縦長のロッカーが設置され、選手団がいつでも使えるようになっていました。オリンピック終了後は、使用した物品は寄贈され、学園で利用しておりましたが、学内整備や移転の度に処分されたこともあって、現存品は五輪旗のポール、感謝状、シューズボックス（現在も使用中）のみで、現在日野キャンパス内体育館2階健康スポーツ科学準備室にて掲示、保管されております。

私が実践女子学園に就職して2年後に1964年の東京オリンピックを迎えました。新任教諭は創立者下田歌子先生の教えを学んでいたころでした。例えば、朝礼での「挨拶の練習」「廊下の歩き方」「すれ違いの会釈」「職員室、教室など入室時の出入りの仕方」「身だしなみのチェック」「授業前の先生をお迎えするとき」など細やかな立ち居振る舞いを生徒と共に卒業生である先輩先生方から厳しい教えを細かく導かれていました。

1964年7月から約4ヶ月間、東京オリンピックの体操競技会場である東京体育館において、参加94ヶ国の異文

化の選手を誘導、競技運営に携わっておりました。大会会場では、日本人としての立ち居振る舞いを随所で実践していました。言葉の通じない国であっても心は伝わること、笑顔で了解の反応を返してもらえて嬉しかった記憶、身振り手振りでの会話、見慣れない国旗にカンニングペーパーをそっと覗きながらの毎日が思い出されます。

当時は“体操ニッポン”の全盛時代の頃、日本選手の男子・女子のメダリスト、世界のメダリスト、特に女子の旧ソビエトの選手（ラチナ、アスタホワ）、旧チェコスロバキアの選手（チャスラフスカ）の演技を目の当たりにして、のびやかな動きと安定感、余韻の残る美しさに呼吸をするのも忘れるような感動を覚えたのを今も忘れません。そして、競技場内でメダリストたちと接することが出来たのは役得に他ならない喜びでした。学生時代に体操競技選手を経験していただけに、将来体操について追及すべき問題点や教育すべき内容を考え、仕事に対する目標を確認したことは、その後の教員生活において学生・生徒にも影響を与えることになりました。その一つに世界共通のルールで対応できる体育・スポーツの



校庭での体操部指導風景 後ろは築山と香雪記念館

実践やスポーツによる国際交流などを通して、将来世界で活躍できるための基礎となるよう、心身の土台づくりを目標にしました。「下田精神の実践躬行^{じっせんきやうこう}」を強調するときには、「ローマは一日にして成らず」と励ましておりました。

また、下田先生は「知育・徳育・体育」三位一体の教えを根本とし、知育、徳育もからだが基礎になるとおっしゃっていることの証拠に、下田先生は第一に体育をとりあげられました。戦前までは「なぎなた」を教職員、生徒全員に奨励していたという卒業生の熱弁によって心を動かされ、体育・スポーツ科学担当の立場から行動開始したのは私が50歳を過ぎたころでした。昭和63年度から実践の流派である「直心影流なぎなた」を授業の中で開講し現在に至っています。なぎなたは、本学園の伝統ある女子教育の財産の一つです。世間で“マナーの実践”と言われていることや就職率の高さに、先輩が築き上げた功績が表れていると思います。

実践女子学園在職48年間では、クラス担任、科目担当の授業と課外活動の顧問（中高部の体操部、短大・大学のバスケット部、なぎなた部、トータルフィットネス同好会）を続けてまいりました。

定年後10年を経過するも初心を曲げずに継続できていることは、伝統と温かい実践女子学園の職場で育まれたことは歪めない事実で、卒業生との交流の機会でも楽しみに語り合っております。実践ブランドとして受け継いでほしいことは、地味な立ち居振る舞いからにじみ出る美しさ、時間はかかっても実



1964年東京オリンピック役員用ユニホーム（当時のサイズのままで春山が着用）



践躬行の生き方、質素堅実に安定感のある生き方など、人間としての基礎を築いている実践女子学園であると思いますので、今後も伝統の輝きを維持してほしいと願っています。グローバルに多様化する現代社会においても人としての正しい礼儀と、笑顔で対応できる健康体力は求められます。「知育・徳育・体育」の三位一体のバランスのとれた教育を堅持する実践女子学園を祈念します。創立120周年を迎え、おかれた場で必要とされる卒業生の活躍を喜ばしく思っております。

2020年東京オリンピック、パラリンピックを迎える今、再び体感できるだろう喜びと、実践女子学園が1964年のオリンピックに協力していたことをご紹介できる機会を頂けたことは一層嬉しく思います。

＊「実践躬行」自分で実際に行動すること。

[プロフィール]

1940年 幻の東京オリンピック生まれ

1962年 実践女子学園に就任

1964年 東京オリンピック組織委員体操競技会場へ4ヶ月間出向

1966年 実践女子大学に配置換え

2010年 定年退職 名誉教授の称号授与

定年後～ 現在の活動：日本体操学会理事、日本体操協会一般体操指導員、地域健康体操指導、実践的身体活動研究会代表、HARUYAMA GYMNASTIK GRUPPE（H.G.G.）主宰、健康体操関連書の執筆など

国文学科創設100周年にあたって ～記念特別講演会～

国文科会 竹内 節子
(昭和55年／院国卒)

実践国文科会が会の創設40周年を迎えた2015年、若松幸子会長が機関誌『りんどう』で「2020年が実践女子専門学校に国文学科が創設されて100年となります。会員の皆様と共に祝賀の準備を立ち上げましょう」と呼びかけ記念事業がスタート致しました。

そこで、実践女子大学国文学科・同短期大学部日本語コミュニケーション学科のご賛同を得て、学園の全面的なご協力のもと2019年10月6日に100周年の記念特別講演会を行う運びとなりました。

また、大学が文部科学省の「私立大学研究ブランディング事業」に源氏物語研究で選定され、2018年度から多角的なイベントを開催されております。その公開講座等で学園の創立120周年と共に国文学科創設100周年の“冠”をつけて広く発信して頂く事になりました。同時に『りんどう』

を通じて会員の皆様に国文学科100年のあゆみを紹介し、広い年代の方々の学生時代の思い出をお伝えしております。

さて、「国文学科創設100周年記念特別講演会」は国文学科主任 棚田輝嘉教授のご尽力により多数のご参加を得て開催されました。

「日本人なのに日本語がわからない、日本人だから日本語がわからない」という演題で、講演者は実践女子大学国文学科教授 山内博之氏・同准教授ルカーシュ・ブルナ氏。特別ゲストは古今亭文菊師匠。実践女子大学・同短期大学部城島栄一郎学長のご挨拶に始まり、山内教授は外国人が受ける日本語教育についての講演、同ブルナ准教授は翻訳文から考える日本文学という講演でした。古今亭文菊師匠は、講演会の“とり”を務めて下さいました。お二人の講演を踏まえて、落語が日本人の日常

生活に寄り添う話芸であることを内外の小断を例に高座とは違った語り口でお話下さり会場は温かな空気に包まれました。

その後の懇親会は実践桜会の鈴掛理事長のご祝辞を頂き、懐かしい先生方や卒業生、教職員・学生も加わり楽しく和やかな時間でした。

懇親会の席上、国文科会会員の「国文学科創立100周年記念」寄付金が若松会長より学園山本章正理事長に贈呈されました。この寄付金は武蔵野書院のご協力により制作された実践女子大学文学部国文学科編

創立100周年記念 収蔵資料複製

『実践国文学』特別号

梶井基次郎 「檸檬」を含む草稿群

—瀬山の話—

に生かされて、ご寄付をお寄せ頂いた皆様と講演会参加者全員のお手元にお届けする事が出来ました。皆様のご尽力に心より御礼申し上げます。

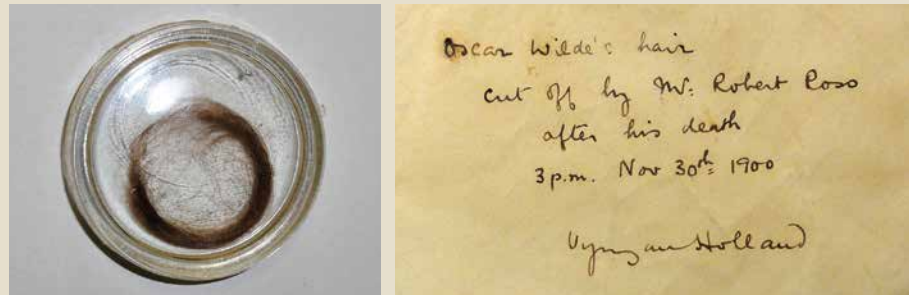
本間久雄博士と オスカー・ ワイルド・ コレクション

実践女子大学 文学部英文学科 教授
大関 啓子

英国世紀末の鬼才オスカー・ワイルド、その遺髪と世界に誇るワイルド・コレクションが、渋谷キャンパスの地下特殊資料室にある事を、皆さんご存知ですか。

詩・劇作・小説・童話・エッセイと、どのジャンルにおいても、時代の先端を切る名作を遺し、さらにそれらの作品を超え、座談の名手といわれた芸術家オスカー・ワイルド。ヴィクトリア朝の英国社会に、同性愛の罪で裁かれ、レディングの獄に繋がれ、その体験を作品に昇華させた、まさに世紀末デカダンスの象徴としての生涯は、強く人々の心に印象づけられています。

英国だけでなく欧米にまで及ぶその多彩な活躍を記したスクラップブックがあります。二人のワイルド研究家によって、1880年代から1920



2.オスカー・ワイルドの遺髪とV.ホランド氏の添え書き（実践女子大学 所蔵）

年代まで、ワイルドの生きたまさにリアルタイムの新聞・雑誌・写真・劇場パンフレット等あらゆる分野の、様々な資料3000点以上を全17集に収めたものです。実践女子大学は、このスクラップブックをすべてカラーデジタル化し、2019年3月22日、インターネットで世界に公開しました。このような資料は、世界に唯一無二の極めて貴重な特殊資料であり、その保存のためにも重要なプロジェクトであったと、ワイルドの孫のマーリン・ホランド氏からも、賞賛とお礼の言葉を頂きました。

このスクラップブックを始めとする英国世紀末文学・文化関係稀覯書1,211点を含むコレクションは、本学名誉教授本間久雄博士のご遺族により寄贈され、『本間久雄文庫』として、大切に保存されています。

本間久雄博士は、英文学者であると同時に、明治文学者、文芸評論家として活躍し、早稲田大学で坪内逍遙の跡を継ぎ、『早稲田文学』の主幹をつとめ、その後本学文学部で「文学概論」等を担当し、多くの卒業生を育てました。羽織・袴の和服を好み、独特の山形弁で講義をする博士の姿を思い出される先輩諸姉も、多いと思います。

昭和3年から4年にかけて、早稲田大学在外研究で滞英中、ロンドンの古書籍商で、ワイルドの膨大なコレクションに出会い、スクラップブックを含むその中枢部分を買求めました。それが縁で、ワイルドの次男ヴィヴィアン・ホランド氏(写真1)と知り合い、同年生まれでもあり、ワイルドとその作品に対する理解でも共鳴し、その

証に、遺族のために遺されていたワイルドの遺髪の一部とその添え書き(写真2)を贈られたのです。日本に帰国後、その資料を基に大著『英国近世唯美主義の研究』(東京堂、1934年)を発表しました。これは日本におけるワイルドのみならず英国世紀末研究のパイオニア、第一人者として、その後の研究に大きな道を拓きました。

この英国世紀末コレクションは、本間博士の帰国後もさらに充実し、また本学寄贈後は小倉皐博士により、ワイルドの直筆書簡や初版本等を加えますます豊かになり、本学の至宝であるだけでなく、世界に誇る英国世紀末の貴重な研究資料となりました。このスクラップブックのカラーデジタル映像は、実践女子大学のホームページから、図書館→特殊資料→本間久雄文庫で、日英二カ国語の解説付きでご覧になれます。

英文学科公開講座として、本間久雄博士とオスカー・ワイルド・コレクションについて、今秋(10月13～30日予定)展覧会を、渋谷キャンパスの香雪記念館で開催します。同時にワイルドの研究発表のシンポジウムも行います。詳細は、ホームページで9月にお知らせいたしますので、どうぞ皆様お誘い合せの上、お出かけ下さい。

[プロフィール]

中学校から大学院修士課程まで実践を卒業。その後、学習院大学大学院博士後期課程を経て、ケンブリッジ大学客員研究員。現在、実践女子大学文学部英文学科教授。国際チョーサー学会および日本中世英語文学学会会員。著書『中世英国ロマンス文学—ケルト逍遙』他。



国文学科創設100周年 記念品



科会だより 活動方針と行事予定

科会の行事には、科を超えてどなたでも参加できます。生涯学習の場・交流の場としてもご利用ください。皆様のご参加をお待ちしております。

実践ときわ会

実践ときわ会が協賛する「祝・成人の会」は、第8回を迎え1月13日の暖かな日に248名の新成人を迎えて無事終了しました。国の定める成人の定義が変わりつつある中、今後、お祝いの名称変更も考えられますが、わが母校を巣立った後輩たちの未来に幸多かれと願う気持ちに変わりはありません。

令和2年度、ときわ会の活動は休止しているため予定はございませんが、場合によりホームページ等にてお知らせをいたします。

(科会長 古藤 黎子)

実践被服 生活環境科会

昨年は「実践被服 生活環境科会」の始まりの年、新たな気持ちでスタートしました。思いもかけず、旧被服学科所蔵古代衣裳の整理作業をさせて頂く機会を得ました。

衣について学んできた私達にとって、大変貴重な経験でした。衣裳は実践女子学園創立120周年記念公開講座において公開展示されました。学園のご協力を頂き、東京近郊在住の当会会員、生活環境学科卒業生にご案内いたしました。旧被服学科、現生活環境学科卒業生の融合が実感できる催でした。今年度は塚原肇教授に七宝焼きを教えて頂きます。宝塚歌劇観劇、見学会は那与竹第83号がお手元に届く時には詳細が決定しています。桜会ホームページをご覧ください。学科、実践桜会のご協力を頂きながら、新旧卒業生の絆を確かなものにしていきたいと思います。今年度もご参加をよろしくお願い致します。

- 第29回総会と懇親会
日時：4月25日(土)
場所：上野精養軒
総会 12：00～12：45
懇親会 13：00～14：30
旧被服学科所蔵衣裳をプロジェクターでご覧いただきます。
- 観劇会〈宝塚歌劇観劇とランチ〉
日時：7月1日(水)
- 講習会〈七宝焼きブローチとネックレス製作〉
日時：11月28日(土)
場所：日野キャンパスものづくり工房A
講師：塚原肇教授(プロダクトデザイン研究室)
- 見学会〈鎌倉散策とランチ〉
日時：10月の平日を予定
見学：報国寺(竹寺) 高德院(鎌倉大仏)

- 鐘木清方記念美術館等
- 会誌発行
「歌ごろもニュースNo.24」 6月上旬
「歌ごろも第29号」 12月上旬
会員以外方のご参加も歓迎致します。
- 連絡先：TEL&FAX 03-3721-9378
(科会長 松岡 久美子)

実践家政科会

世界の平和を祈り、実践女子大学・実践桜会の繁栄を願い、実践家政科会が社会と共にある事を思います。2020年度の活動は下記の通りです。

- 4月22日(水) 見学会(和食展)
東京国立科学博物館 現地集合
昼食：上野風月堂2階
- 5月20日(水)「家政科会たより48号」発行
- 5月24日(日) 実践家政科会第60回総会
於：ホテルニューオータニ東京
実践女子学園理事長・同学長をお迎えして、社会に向かっていく卒業生へのはなむけのお言葉をお聞きしたいと思います。
- 10：30 総会
12：00 クラシックコンサート
- 6月14日(日) 観劇会：三越劇場 昼の部
新派公演「東京物語」
出演：水谷八重子、波乃久里子、大地康雄 ほか
- 9月30日(水) 福祉施設作業用エプロン縫製
於：実践桜会会館 10：30
- 10月18日(日) 料理講習会
於：ロテスリー・レカン 11：30
- 12月 歳末助け合い募金に協力、日本赤十字社に使用済み切手郵送

本年は、東京五輪と重なり日時がずれました事をお詫び致します。会員以外の方も何卒ご参加をお待ち致します。

- 連絡先：FAX 045-571-0213
(科会長 熊切 富子)

実践国文科会

昨年秋の国文学科創設100周年記念特別講演会は、皆様のご協力により盛会裏に終わることができました。御礼申し上げます。

本年度も引き続き行事へのご参加をお待ちしています。

- 総会：4月19日(日) 13：00～14：00
於：実践桜会会館
- 記念講演会：(総会後) 14：30～
講演：実践女子大学国文学科 佐藤 悟教授

- 古典芸能鑑賞会：能、狂言7月11日(土)
於：国立能楽堂
能「隅田川」観世流、狂言「神鳴」大蔵流
- 会誌「りんどう」発送9月9日
- 一葉祭：11月23日(月)
於：東京都台東区「一葉記念館」
- 新年会 令和3年1月24日(日) 予定

国文科会の催事は会員に限らず何方でも参加できます。ご希望の方は下記まで。

- 連絡先：実践桜会内 実践国文科会
(科会長 若松 幸子)

実践英文科会

昨年は、秋の見学会をバスを使わない形で開催しました。他科会からの参加もあり、都内にありながら緑にあふれた白金台の庭園美術館を堪能しました。1月の新年会は、東京ステーションホテル4Fの“アトリウム”で開催いたしました。今年も新メンバーの参加もあり、嬉しく思っております。

新しい年度の活動は6月がスタートです。皆様の益々のご協力、ご支援を宜しくお願い致します。

- 総会：6月7日(日) 11：00～12：00
- 講演会：(総会後) 13：00～15：00
講師：政井貴子氏(日銀 審議委員)
テーマ：未定
会場：実践桜会会館 1Fホール
- 「英文科会だより」2020 発行9月下旬
- 見学会：10月下旬～11月上旬
- 新年会：2021年1月24日
- 常設勉強会：於 実践桜会会館
輪読会A：第2・4金曜日10：30～12：30
輪読会B：第1・3金曜日10：30～12：30

- 連絡先：TEL&FAX 045-862-3744
(科会長 山内 典子)

実践生活文化科会

生活文化科会では、卒業生や先生方による講演会の企画などを考えております。今後の企画に関する詳細は、Facebookやメールでご案内いたします。科会からのご案内がない場合には、ぜひ以下にご連絡をいただけたら幸いです。

まだまだご連絡先不明の同窓生の皆様が多数いらっしゃいます。一人でも多くの同窓生の皆様に、イベントやお知らせをいたしたく存じますので、ご友人同士お声がけいただき、ご協力をお願い申し上げます。

- 連絡先：jj.seibun.og@gmail.com
Facebook：https://m.facebook.com/profile.php?id=100009369324879
(科会長 北村 はるか)

実践キャリアネット

【2019年度の活動レポート】

総会・講演会・茶話会

2019年6月15日(土) 桜会会館

雨風が強く肌寒い一日でしたがが会員の皆様ずぶ濡れになりながらご出席くださいました。

総会後の講演会は、本学国文学科卒業生で実践女子大学短期大学部非常勤講師である有賀暁子氏にお願いいたしました。「NHKテレビ・ラジオ体操」のインストラクター、フロアディレクターを経て、現在フリー体操インストラクターをされています。

有賀さんの楽しいお話、参加者の柔軟性チェック、体操のコツの伝授の後「ラジオ体操第一」を全員で行いました。

茶話会では参加の皆様の自己紹介をして話が弾みました。

実践キャリアネットは「仕事」「働く」をキーワードとした同窓生のネットワークです。世代・学部を超えた仲間との異業種交流、キャリアアップの為のセミナー開催、在校生支援、卒業生就職・転職相談などの活動を行っています。卒業生であればどなたでも入会できます。セミナー、講演会は「仕事」経験の有る方は勿論、無い方でも大歓迎です。入会をお待ちしております。

第1回セミナー開催

2019年11月16日(土) 実践女子大学創立120周年記念館804教室

今年度のセミナーは大学国際交流課との初の共催で、本学英文学科卒業生で元コロラド州立大学、教養学部言語・文学・文化科日本語専任講師の中野眞佐子氏にお願いいたしました。

第1回は「謙遜の美德は本当に美德か～米大学での教師生活を振り返って～Part 1」と題し、学生が興味のある海外留学に関して、中野氏の経験に裏打ちされたお話を伺いました。セミナー後は9階のカフェテリアで大学が用意してくださった喫茶を楽しみました。

第2回セミナー開催

2020年1月18日(土) 桜会会館ホール

今回は「謙遜の美德は本当に美德か～米大学での教師生活を振り返って～Part 2」と題し、中野氏が日本語教師に

なった経緯などお話しいただき、後半のグループワークセッションでは皆様活発に参加され、あっという間に時間が過ぎていきました。

セミナー後、新年会を催しました。

【2020年度の活動予定】

- ①2020年6月20日(土)
総会・講演会(講師：初風緑氏)
- ②2020年11月21日(土)
第1回セミナー(講師：未定)
- ③2021年2月
卒業生と在校生との交流会
～OG懇談会～(渋谷&日野)
- ④2021年3月 会員交流会
- ⑤「卒業生のための仕事についての何でも相談会」は随時受付いたします。
詳しくはホームページをご覧ください。
- ⑥毎月第3土曜日
キャリアネット運営委員会

桜会親睦会 東京湾クルージングとマリンレストランランチ

10月29日(火)、隔年で実施しております桜会親睦会が39名の参加で行われました。天王洲アイル駅集合、近くの乗船場から貸し切り大型クルーズ船で東京湾内の2020オリンピック・パラリンピック競技会場を洋上から視察、ウォーターフロントの歴史、隅田川にかかる重要文化財の3つの橋等、船内で説明を聞きながら、ゆったり、のんびり巡ります。

この時期、天候の穏やかな良い日程と想定しておりましたが、今年の10月

は例年になく雨降りの多い月で、あいにくの小雨模様でした。好天ですと、船外のデッキで外の風を感じて360度見渡せる絶景も楽しめるので、少し残念でした。

船内からでしたが、ゆっくり座って、または立ち歩いておしゃべりを楽しみながら、用意されたお茶や飲み物を頂いたり、進行方向の左右に広がる海上からの景色、2020オリンピック会場、豊洲市場、様々な施設、公園、文化財の橋などの説明を聞いて過ごしました。

また、参加者の質問にも一つひとつお答えくださり、丁寧な解説で堪能しました。東京湾といっても穏やかな海面で滑るように船は進み、地上から見える景色とは異なる水辺の風景はとても新鮮でした。

クルージングも予定通り航行。その後、乗船場直結のマリンレストランで美味しいランチと楽しいおしゃべりのひとときをお楽しみいただきました。食後に記念写真を撮り、解散となりました。



集合写真



クルージング船



有明体操競技場



船内



船内で提供されたフリードリンク

学祖祭

令和元年度の学祖祭は、数年ぶりに先生のご命日の10月8日に実施いたしました。例年同様、桜会理事長はじめ学園関係者が揃って護国寺の墓前にお参りました。渋谷にもどり、実践桜会会館の祭壇（仏式）にお参りし、その後、実践女子学園桃天館香雪記念室の祭壇（神式）に参拝しました。

桜会では下田先生直筆の短冊や著作の原本、同窓生よりご寄贈の懐かしい品々などを展示し、皆さまにお参りいただきました。



祝・成人の会

令和初の成人式を迎えられた実践女子学園中学校高等学校卒業生（平成30年3月卒業）の「祝・成人の会」が、令和2年1月13日（月・祝）に実践女子学園桃天館にて開催されました。企業5社からの協賛を頂き、春のような暖かな天候にも恵まれ、248名の新成人の皆さんが懐かしの母校に集まりました。第一部は、桜講堂にて石野郁也校長、学園理事長、桜会理事長の挨拶に続き、卒業時の謝恩会のために卒業生自身が製作したDVDの映像が流され、久しぶりの校歌斉唱、その後全員で記念撮影を行いました。第二部は、カフェテリア・ラウンジに場所を移し、懇親会が開かれました。実践ときわ会副会長の挨拶、難波学園常務理事の乾杯のご発声で、和やかに会食、最後に新成人代表がこの会に対する謝意とこれからの

抱負を述べました。

久しぶりの母校で、先生方や友人に再会した喜びで、笑顔にあふれ、思い出話の花が咲き誇りました。



学園120周年記念関連事業に参加

学園の創立120周年の年にあたり、令和元年5月6日、下田歌子先生ご生誕の地岐阜県恵那市岩村の隆崇院にて法要、桜会より22名が参加いたしました。創立記念日である翌7日には、綾錦顕彰碑前にて学園関係者・実践桜会・恵那市関係者・岩邑うた子会総勢120名以上の出席のもと、記念式典、懇親会が行われ、学園理事長、学長、中高校長、桜会理事長による120周年記念碑の序幕が行われました。

5月11日には、記念祝賀会が、渋谷の創立120周年記念館9階カフェテリアにて行われ、ホームカミングデー、11日、12日両日にわたって行われたJフェスとあわせて、たくさんの同窓生が渋谷に集いました。11月24日には、記念シンポジウムが開催され、社会の第一線で活躍する同窓生の姿に頼もしさを覚えました。



母校教育助成事業

○令和元年度定時総会（5月19日）に実

践桜会より学園助成金を山本理事長に贈呈しました。

○大学常磐祭実行委員会に協賛金を贈呈しました。

○11月10日（日野キャンパス）11月24日（渋谷キャンパス）の常磐祭において、桜会賞（研究部門・芸術部門）を授与しました。

実践桜会奨学基金事業

○学園高校生1名に給付しました。

○公募により実践女子大学生2名に給付いたしました。

実践桜会国際交流基金事業

○留学生3名（中国3名）に奨学金を給付しました。

●10月5日と3月7日に実践桜会との交流会を開催し、奨学生5名が研究の成果を発表しました。

社会活動助成事業

会員以外の一般の参加者も視野に入れた諸活動を行った5科会、10支部、計15団体に社会活動助成金として上限5万円を助成しました。

法律相談

○月1回、第2水曜日（11時～16時）に行っています。

○秋田瑞枝弁護士が相談を担当します。

○事前に電話で予約してください。

○秘密厳守をお約束いたします。

詳細は実践桜会会館にお問い合わせください。

実践桜会ホームページご案内

URL：http://www.J-sakura.org



実践桜会バザー報告

今年は実践女子学園中学校高等学校の行事変更のため、例年より早い9月21日（土）22日（日）にときわ祭の開催となり、「実践桜会バザー」も実施されました。会員の皆様から様々なお品（衣類、タオル、バッグ、食器、雑貨、食品など）やとても丁寧な手作り品の数々、全国各地の支部からはその地方の特産品をお送り頂きました。また科会からは手作りアクセサリのご提供もありました。

例年、大変好評をいただいている、下田歌子先生の故郷、岐阜県岩村の銘菓・特産品の各種、卒業生所縁の各地の店舗からの出品や老舗のお弁当も皆様にお買い求めいただき、大変好評でした。

今回より残暑の為、要冷蔵品や傷みやすい食品の扱いは中止し、悪天候によるときわ祭中止等も懸念されたので、全体の仕入れ数もおさえました。御来場の皆様には、楽しみにされていた品が売り切れるなど、ご迷惑をおかけしました。

各支部、科会、並びに会員の皆様から賜りました売り上げ収益金は実践桜会の運営に有効に活用させていただきます。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

支部名	寄贈品
札幌支部	六花亭のお菓子数種
函館支部	トラビストクッキーほか函館名産品
岩手支部	盛岡冷麺(佐詰)
宮城県支部	スパークリングワイン(白・ロゼ)
福島県支部	ピクルス酢(食酢)
茨城支部	いも菓子、いもほっかり
栃木県支部	干瓢
群馬県支部会	たまり漬・粕漬け・醤油漬け
埼玉支部	いも菓子各種
千葉県支部	ミッフィーサブレ
神奈川支部	味噌、干しいたけ、お茶、柚子胡椒
長野支部	純米酒

支部名	寄贈品
新潟支部	米菓子各種
富山支部	白エビ加工品各種
福井支部	花らっきょう
静岡支部	お茶、お菓子各種
関西支部	都酢味噌
島根支部	お茶、タオル 他
佐賀支部	陶器(唐津・有田等) 他
熊本支部	くまもんキャラクター歯ブラシ
大分支部	かぼす12kg
鹿児島支部	お菓子各種
沖縄支部	琉球陶器・ガラス
英国支部	英語の絵本



実践桜会バザーのお知らせ

開催日 2020年9月19日（土）・20日（日）

●バザー寄贈品で提供のお願い

（受付期間 4月～9月12日）
開催時期の気温と設備の都合上、要冷蔵の食品はご辞退させていただきます。

●バザー当日のお手伝いを募集します

（受付期間 4月～8月末）
お問い合わせは、実践桜会事務局まで
休館日：7月23～26日／8月8～16日

「令和」改元初の初春歌舞伎観劇会

新春の穏やかなお天気に恵まれ、1月12日（日）国立劇場にて桜会の歌舞伎観劇会が行われました。「令和」に改元されてはじめてのお正月を迎える国立劇場の初芝居は吉例の復活通し狂言の上演です。今回の作品は文化・文政の江戸歌舞伎を支えた四世鶴屋南北の『御国入曾我中村』をアレンジして、通し狂言『菊一座令和仇討ち』と題して上演されます。

複数の物語の世界を巧妙に組み合わせて新たに創作する「絢交ぜ」の手法を活かした作品です。南北ならではの奇想天外な設定が仕組まれ舞台から目が離せません。初心者でもイヤホンガイドの解説を聞いて、十分に楽しめました。また、国立劇場では八年ぶりの両花道を使用した演出で菊五郎一座の出演者の姿が一段と近くに感じました。四幕目大詰での多勢の追っ手と松録、菊之助演じる権三、権八の殺陣がとても見事でそのスピード感とリズムカルでアクロバティックな立ち回りには見入ってしまいました。干支のネズミを使った小道具や随所にコミカルな流行の言葉や所作もあり、大変楽しませてくれました。

ロビーはお着物姿の方も多く、飾り付けも初春らしく華やかです。恒例の「手拭撒き」と、本当にすばらしい舞台でした。また、「十八番」でのお食事もしみの一つです。入り口には劇場から実践桜会のため、山形の「啓翁桜」が活けられていました。開演前のひとときを実践桜会特注のお弁当を味わっていただきました。

来年もまた、この初春歌舞伎観劇会でお会いできますよう、ご家族やご友人とご参加ください。



会費納入のお願い（年会費2,000円）

一般社団法人教育文化振興実践桜会の運営・活動は皆様の会費によって支えられています。会費未納のかたは振込用紙にてお近くのコンビニ、ゆうちょ銀行および実践桜会本部窓口でご納入願います。また、右記の銀行口座を使い、銀行振り込みもご利用ください。

みずほ銀行渋谷中央支店（162）
口座番号普通1189795
一般社団法人教育文化振興実践桜会

なお、振込用紙がない場合は、実践桜会会館までご連絡ください。
TEL：03-3407-7459 FAX：03-3499-0835
E-mail：jissen-sakurakai-jim@forest.ocn.ne.jp
＊いずれの場合も会員番号、卒年学科のご記入をお願い致します。

告知板

♥結婚相談室♥

相談日：原則として毎月第2・第4土曜日 10:30~16:00
休 室：7月第4土曜日、8月第2・第4土曜日、12月第4土曜日
会 場：実践桜会会館

入会資格：本校卒業生及び卒業生のご紹介の心身共に健康な男女

入 会 金：2万円、書類代：1千円

入会時に持参するもの：入会ご希望の本人自筆の履歴書
写真5枚（本人のみ、スナップ可）

☆秘密厳守で評判の良い相談室です。

☆詳細は桜会事務局にお問い合わせください。

「実践女子学園卒業生作品展」出展者募集

開催日時：2020年7月16日（木）～19日（日）10:00～18:00

会 場：渋谷区文化総合センター大和田

主 催：実践女子学園卒業生作品展実行委員会

締め切り：4月末

お問合せ先：山本順子 TEL&FAX 03-5479-1858

実践桜会囲碁教室

囲碁の世界でも4～5年前からAI・人工知能が大きな話題となっていますが、囲碁は、なんといっても人と人との交流という点で素晴らしい機会を与えてくれます。昨年は、日本福祉囲碁協会との交流会の他に「菊ちゃんまつり」、「トリプル碁大会」への参加などで他団体との交流も深めました。囲碁に興味のある方、いつでも歓迎しています。

・開室日：原則として第2・第4月曜日13:00～16:00
その他、自主学習日を設ける予定です。

・会 費：1回1,000円
・講 師：柳川 正興（アマ6段）
・開室予定日

4月	13	27	7月	13	27
5月	11	25	8月	3	31
6月	15	29	9月	14	28



学習風景

実践桜会会館・貸室のご案内

明るい会館を、クラス会、サークル活動、各種打ち合わせ等に、お気軽にご利用ください。見学も受け付けております。

令和2年度実践桜会会館利用サークルのご案内

サークル名	活動曜日	主な内容
青脈会	不定期	山岳部OB会
アトリエ染花	不定期	工芸・飾り花
編み物の会	第3金曜日	工芸・編み物
英文輪読会A	第2・4金曜日	英文学
英文輪読会B	第1・3金曜日	英文学
楓会	第2火曜日	染色
桂泉会	月二回土曜日	華道古流
香友会	不定期	香道
桜書道教室	月二回土曜日	書道
下田歌子先生の著作を読む会	第3日曜日	研究会：下田先生を広く知る
実践絵手紙の会	第3日曜日	絵手紙
実践桜会囲碁教室	第2・4月曜日	囲碁

サークル名	活動曜日	主な内容
天然石で作るアクセサリーの会	不定期	天然石を使ったアクセサリー作り
童の会	不定期	文学・児童の研究と創作
日本ギヤスケル協会	第1又は第3日曜日(不定期)	ギヤスケルの研究
日本刺繍の会	第4木曜日	日本刺繍
ハーダンガーの会	第2木曜日	工芸・ハーダンガー刺繍
ハワイアンスクール	第1・3火曜日	健康フラとウクレレ
北欧クロスステッチ	月一回土曜日	北欧刺繍
マンドリンクラブOG会	不定期	音楽・マンドリン
実香会	第3土曜日	香道
紹ざしの会	第2火曜日	伝統工芸刺繍による小物作り
JJF	不定期	中高在籍中の子女の親父の会

2020年1月現在

【寄附者ご芳名】（敬称略）H31.1.20～R1.12.31 受付

佐野滋、高瀬真理子、中島道子、大慶峰子、沖縄支部会員（匿名）、野崎啓子、福村和子、山崎由香子（故人）、倉島須美子、坂口陽子、鈴掛まゆみ

*ご寄付は随時受け付けております。

【編集後記】

グローバル化といわれて久しいですが、ヒトの交流やモノの移動はもちろん、情報もあつという間に世界を巡る昨今です。今年は東京オリンピック・パラリンピック開催年です。人の意識は時代と共に変わってきましたが、自国の文化はお互いに尊重し守りあっていく大切なものだと思います。そんな思いを込め表紙を選んでみました。（広報部一同）

2021年実践桜会は 創立120周年を迎えます

編集・発行：一般社団法人教育文化振興 実践桜会

編集・発行人：鈴掛まゆみ

〒150-0011 東京都渋谷区東1-1-40

TEL：03-3407-7459 FAX：03-3499-0835

URL：http://www.j-sakura.org

広報部メールアドレス：jissen-sakura-koho@dance.ocn.ne.jp

振込口座：東京00190-0-2384

印刷：株式会社ローヤル企画

実践桜会は皆さまの会費で運営されています。年会費 2,000 円の納入をよろしくお願いします。

【お願い】 転居・改姓または、住所表記が変わった方は、会員番号（宛名シールに記載）をご確認の上、実践桜会事務局までご連絡ください。